

兵庫県保険医協会北阪神支部

入場無料

—第26回支部総会記念講演—

原発安全神話の崩壊と代替エネルギー

～福島第一原子力発電所事故から考える～



講師 元京都大学原子炉実験所教員

岩本 智之氏

日時 10月22日(土) 15:00～17:00

会場 伊丹市立商工プラザ4F 会議・研修室A

(伊丹市宮ノ前2-2-2 阪急・JR伊丹駅から徒歩約8分)

懇親会 17:30～(於:長寿蔵)

3月11日に発生した東日本大震災による福島第一原子力発電所事故は、水素爆発、汚染水漏れ、メルトダウンなどを相次いで引き起こし、多くの避難者を生み出しているばかりか、事故から数カ月経たずとも終息の目途が立たず国民に大きな不安を広げています。

今回は、長年原子炉実験所で教鞭をとられた岩本先生に、今福島で何が起きているのか、今後何が起こりうるのか、とりわけ「原発は安全」「化石資源の枯渇には原子力に対応」「原子力は安く二酸化炭素を出さない」などの原子力神話を正面から検証していただきます。

代替エネルギーへの転換が叫ばれる昨今、私たちの日常生活や習慣を見つめ直すためにもこの機会にぜひご参加ください。(副支部長 脇野記)

岩本 智之 (いわもと さとし) 氏ご紹介

1940年生まれ/京都大学理学部地球物理学科卒/元京都大学原子炉実験所教員/日本科学者会議常任幹事/著書『最近暮らしの中の環境問題 Q&A』/3.11後全国で講演多数

お問い合わせは、TEL:078-393-1817 事務局 吉永・小川まで

(切り取らずに返信ください)

【FAX要返信】078-393-1802

※口にレ印を入れてお返事をお願いします。

○北阪神支部総会議事

(14:20～14:50・2F研修コーナー)

出席

欠席(議事の一切を議長に委任します)

○記念講演(15:00～17:00)

出席 欠席

○懇親会(17:30～)

出席 欠席

地区 _____

御氏名 _____

医療機関名 _____

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2011年9月25日号 No.215

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部 支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

経営対策研究会

雇用助成金 積極活用を

桂社労士講演に参加18人

北阪神支部は9月17日、いたみホールで経営対策研究会を開催。桂社労士社会保険総合事務所の桂好志郎社会保険労務士が「医療機関で使える雇用助成金～賃金計算もふくめて」をテーマに講演。18人が参加した。

講師は、東日本大震災被災者の緊急雇用対策で、医療機関もふくむ中小企業が被災者を1人雇用するごとに90万円を助成する制度が4月に新設されたことにふれ、「被災者雇用開発以外にも、労働者を新たに雇い入れるとき、福利厚生制度の改善を行ったとき、育児や介護を支援するとき、教育研修を行うときなど、様々な状況に応じて制度がある。全額事業主が負担している労働保険料が原資である各種の助成金を活用しないのは損」とし具体例として均衡待遇・正社員化推進奨励金、3年以内既卒者トライアル雇用奨励金、中小企業育児・雇用安定等助成金などを詳細に紹介。申込時に求人票、雇用契約書、雇用契約期間、タイムカード、賃金台帳などの整合性も問われることも併せて指摘した。

また講師は、必要とする人材の確保に助成金を有効活用する方法や、留意点について「医療機関の理念や雇用管理の内容を変更してまで導入することは問題。あくまで院長の基本スタンスの延長であるべき」「就業規則の作成・届出、計画書の提出など早くから計画的にことを進める」「事務担当者の配置と窓口の関係を円滑にし、齟齬のないように工夫するべき」とした。



「助成金を上手に活用して医院活性化を」と桂氏

宝塚社保協定期総会

介護保険改善これからは正念場

大阪社保協・日下部氏が記念講演

中井通治支部長、脇野耕一副支部長が副会長を務める社会保障をよくする宝塚の会(宝塚社保協)は9月13日、宝塚市立西公民館で第7回定期総会を開催。市民ら50人が参加した。記念講演では大阪社会保障推進協議会の日下部雅喜氏が「宝塚市の介護保険 現状と課題 ～『改定』介護保険法の問題にもふれて」と題し講演。総会議事では中井先生、脇野先生が副会長に再選された。



6月15日に成立した「改正」介護保険法について講師は、「要支援1、2と認定された高齢者へのサービスを、市町村の独断で安上がりなものに置き換えることを可能にする『予「キャラバンに期待」と日下部氏防給付と生活支援サービスの総合化(総合事業)』が最も問題」と指摘。「総合事業によって財源も体制も整わないまま、「訪問サービス」「通所サービス」が自治体の裁量で不十分なものにされかねない」と警鐘を鳴らした。

また講師は、宝塚市の介護保険財政にふれ「市の介護保険給付費準備基金は09年度末で7億6千200万円もプールされており、介護サービス利用料軽減の制度化は十分に可能。総合事業導入を許さないためにも、今から自治体キャラバンなどで交渉を強めてほしい」と呼びかけた。

■協会北阪神支部役員選挙の告示■

支部長 中井 通治

(細則) 協会役員等の選出規定の第3条の3および第9条の2により、北阪神支部役員選挙の告示を行います。

【役職と定数】 支部長・1名 副支部長・若干名 幹事・若干名

【任期】 2年

【改選日時】 10月22日(土) 14時20分

於：北阪神支部第26回支部総会/伊丹市立商工プラザ

【立候補日時締切】 10月14日(金) 12時必着

【立候補届出の方法】

立候補希望者・推薦希望者は、協会事務局までお申し出ください。用紙をお届けします。「立候補届」「推薦届」に必要事項を記入の上、事務局へ持参または郵送ください。

兵庫県保険医協会北阪神支部 在宅医療研究会

認知症の基礎知識

～アルツハイマー型、レビー小体型、前頭側頭型～

日時 11月10日(木) 18:00～20:00

会場 宝塚ホテル6F 宝寿の間
(宝塚市梅野町1-46 ☎0797-87-1151 下記地図参照)

講師 つちやま内科クリニック(西宮市) **土山 雅人先生**

共催：小野薬品工業株式会社(17時45分から製品説明会)

高齢化社会の到来とともに認知症は増加し、2015年には全国の患者数が250万人に達すると予想されています。また、今年になってアルツハイマー型認知症に対する新たな薬剤が3種類使用できるようになるなど、医療者のみならず市民の関心も高くなっています。医療や介護に携わる人にとって認知症について正しい知識を持つことは大変重要なことです。



今回は認知症のとらえ方をお話ししたうえで、認知症をきたす疾患の中でも比較的頻度の多いアルツハイマー型、レビー小体型、そして前頭側頭型の3つを取り上げて解説します。各々の特徴や対応のポイントを比較検討し、最後に事例を通じて地域で認知症患者さんを支える際の問題点を皆様と考えたいと思います。

認知症の診療は診察室の医師と患者さんだけで完結するものではありません。地域で医療や看護、介護に携わる各職種の皆様との連携が必須です。当日はご出席の皆様と意見交換ができることを楽しみにしています。(土山 記)

お問い合わせは...
TEL: 078-393-1817(吉永・小川)まで

(切り取らずに送信ください) 【FAX返信】 078-393-1802宛

● 在宅医療研究会に申し込みます

兵庫保険医協会北阪神担当行

お名前 _____ 職種 _____

医療機関名 _____ ☎ () - _____ FAX () - _____